

彼らはなぜ奉公先を解雇されたのか

奉公先で一生懸命に働くと約束したはずの長助さんと治助さん。彼らはそれぞれ、どんな理由と事情があって、勤めを続けられなくなったのでしょうか。くずし字を丁寧に読み解きながら、雇用主の奉公人たちへの対応などから江戸時代の社会を考察していきましょう。

講座日時／お申込方法（予約制）

定員100名
(先着順)

●開催日 2017年2月18日(土)

●講座時間 13:00~15:00 (受付開始▶12:30~)

参加ご希望の方は、

多田屋千葉営業所 へ直接お電話にて

ご連絡ください。（担当者：信田・古谷）

電話番号：043-227-8388

受講料：2,000円



▶油井宏子 先生



会場 ▶千葉市中央区長洲1-8-1

ホテルプラザ 菜の花 4階(楳)

交通

- ▷JR内房・外房線「本千葉駅」下車、徒歩3分
- ▷京成千葉線「千葉中央駅」下車、徒歩10分
- ▷千葉都市モノレール「県庁前駅」下車、徒歩1分
- ▷JR千葉駅前③バス乗り場より小湊バスで
「県庁前」下車、徒歩1分 ※料金は、100円です。

講師紹介

油井宏子 (あぶらい ひろこ)

千葉県生まれ。県立千葉高校、東京女子大学卒業。公立中学校教諭を経て、1989年よりNHK学園古文書講師。全国各地を行脚しながら、古文書の楽しさや面白さを伝えている。著書に『手がかりをつかもう！ 古文書くずし字』、ほかに『古文書くずし字 見わけかたの極意』『絵で学ぶ古文書講座』『そうだったのか江戸時代』『古文書はじめの一歩』『江戸が大好きになる古文書』『古文書はこんなに面白い』『古文書はこんなに魅力的』（いずれも柏書房）、『江戸奉公人の心得帖』（新潮新書）、監修書に『江戸時代&古文書虎の巻』『古文書検定入門編』（いずれも柏書房）がある。



多田屋